



芝間市社会福祉協議会

下市毛地区

社協だより

第11号

しだれ桜ボランティア活動報告

しだれ桜ボランティア会 飯野 千賀子

地域ボランティア「しだれ桜会」は、現在男性8名、女性17名が、下市毛会館を活動の拠点として、一人暮らしの高齢者に配食サービスなどを行っています。

今年で12年目を迎え『向こう三軒両隣』など昔の風習も薄れつつあるなか、見守りやふれあいを兼ねた配食の重要性を感じ、毎週4回(2回はボランティアの手作り)弁当をとけています。そのほか、年2回、春・秋に会館を利用してお弁当を作っています。メニューから買物素材選びを会員が行い、会員の自宅で採れた野菜を持ちよって季節感あふれたお弁当をお届けしています。

今年は例年になく猛暑となりひとり暮らしの高齢者が心配となります。またいろんな災害などに備えるため、連絡網を作っています。二人体制で、歩いて支援者宅までいけるようにしています。それは、東日本大震災の時、ライフラインが止まり、特に水の配給に困ったからです。非常時に車を使用できるとはかぎりません。身近な見慣れた場所、地理勘が働くことが大切になります。15区の防災訓練にも参加しながら、地域の皆様に少しでも力になれるよう、交流を深めていきたいと思っています。



夏祭り

下市毛子供会会長

秋元 幹子

7月28日(土)と29日(日)の二日間に渡り夏祭りが行われました。

一日目の子供神輿渡御は、台風12号の接近により、参加者の安全を考慮し、残念ながら中止にしました。楽しみにしてくださった皆様には、大変申し訳なく思っております。

夕方からのカラオケ大会、ビンゴゲーム、お楽しみ抽選会は、予定通り実施され大いに盛り上がりしました。青年部の皆様には、雨風の強い中、模擬売店を出店して頂きました。

二日目は、台風一過の晴天に恵まれ、無事二日目のルートを回ることができました。

二日間、地域の皆様には、ご協力頂きありがとうございました。

